



— 皇室と九州をむすぶ美 —
Aesthetic Connections:
Art from the Japanese Imperial Collection

皇室の名宝

特別展



令和3年(2021)
7/20火 → **8/29**日
九州国立博物館 太宰府天満宮横

休館日=月曜日
ただし、8/9(月)、8/16(月)は開館、8/10(火)は休館
開館時間=午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
※夜間開館の実施状況については当館ホームページ等でご確認ください。

●期間中、展示替えがございますのでご了承ください。
前期 7月20日～8月9日・後期 8月11日～8月29日

主催=九州国立博物館・福岡県、宮内庁、西日本新聞社、
テレQ、日本経済新聞社
共催=(公財)九州国立博物館振興財団、BSテレ東
特別協賛=積水ハウス株式会社
協賛=NISSHA、平安閣エヌビーオー互助会、MIKIMOTO
特別協力=太宰府天満宮
後援=福岡市、太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会

14.5 西日本新聞 3.5 テレQ 3.5 NIKKEI

※掲載作品はすべて宮内庁三の丸尚蔵館所蔵
《雪月花》(部分) 上村松園【後期】/《動植綵絵 芙蓉双鶏図》(部分) 伊藤若冲【前期】
《粘葉本和漢朗詠集》(下巻 部分) 伝 藤原行成【会期中めぐり替え】/《鳳凰園花瓶》二代海野美盛、海野清【春日権現験絵巻】(巻第十 部分) 高僧隆兼【後期】

くないちょう
宮内庁
さん まるしょうぞうかん
三の丸尚蔵館
について

皇室に代々伝えられてきた美術品類6,000余点は、平成のはじまりに、日本の文化遺産として、国民にも公開できるようにとの上皇陛下のご配慮によって、国に寄贈されました。宮内庁三の丸尚蔵館は、この皇室の美術品を大切に保存、研究、そして展示公開することを目的として、平成5年に皇居東御苑内に開館しました。その後も故秩父宮妃のご遺贈品、香淳皇后のご遺品、故高松宮妃のご遺贈品、三笠宮家のご寄贈品が加わり、現在の収蔵品総数は約9,800点を数えます。

◆関連イベント

①記念対談
「やきもの王国 九州と近代の皇室」
日時:7月24日(土) 午後1時半～午後3時半
出演:沈壽官氏(沈壽官窯十五代・陶芸家)
岡本 隆志氏(宮内庁三の丸尚蔵館・主任研究官)



《色絵金彩菊貼付花瓶》十二代沈壽官
明治26年(1893)【通期展示】

会場:九州国立博物館 1階ミュージアムホール
定員:140名 ※変更する場合があります
申込締切:7月9日(金) 必着
※聴講無料、ただし本展観覧券もしくはQRチケット画面の提示が必要

[申し込み方法] 往復はがき、もしくは下記サイトで受付。
ご希望のイベント名、郵便番号、住所、希望者全員の氏名(ふりがな)、電話番号、人数(1通につき最大2名まで受付可)を明記の上、下記宛にお申し込みください。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞イベントサービス内「皇室の名宝展」係

※往信用裏面/上記必要事項をご記入ください。返信用表面/郵便番号、住所、氏名をご記入ください。※2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。※当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。※ご応募の際にいただいた個人情報は、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。

[申し込みサイト] artne.jp のトップページもしくは下記のQRコードから



九州・山口の아트情報サイト「아트네」
ARTNE 아트네 artne.jp

◆観覧料・チケット

一般2,000円(1,800円)、高大生1,200円(1,000円)、小中生800円(600円)

※()内は前売り料金 販売期間:5月15日(土)～7月19日(月)
販売場所:ARTNEチケットオンライン、ローソンチケット(Lコード82279)
天神定期券発売所(西鉄福岡駅・ソラリアステージビル1階)、
九州国立博物館ミュージアムショップ

※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご観覧いただけます。
※障がい者等とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等(詳細についてはホームページ等をご確認ください)をご提示ください。

※大学生以下の方は展示室入口にて学生証や生徒手帳をご提示ください。

※本展では券売所での混雑を避けるため、キャンパスメンバーズ券以外の各種会員制度やクーポン等による各種割引のお取り扱いはございません。

※会場の混雑状況によっては、ご入場までお待ちいただくことがあります。

並ばず事前にお買い求めいただけるオンラインチケットが便利です。

ARTNEチケットオンライン購入はこちらから→
<https://artne.jp/pages/ticket>

お問合せ=皇室の名宝展事務局 ☎092-711-5491
(平日午前9時30分～午後5時30分)



●マスク着用のうえご入館ください。 ●37.5度以上の発熱、また風邪などの症状がある場合はご入館いただけません。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本展の予定や内容に変更が生じることがあります。その場合は当館ホームページ等を通じて随時お知らせいたします。

【公共交通機関】

- 西鉄電車=西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要
- JR=JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
- 西鉄バス=博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分【車】
- 九州自動車道=太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分
- 福岡都市高速=水城出口から高雄交差点経由で約20分
- タクシー利用=JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

! 本展の会期中は、太宰府周辺道路の混雑が予想されます。
ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。



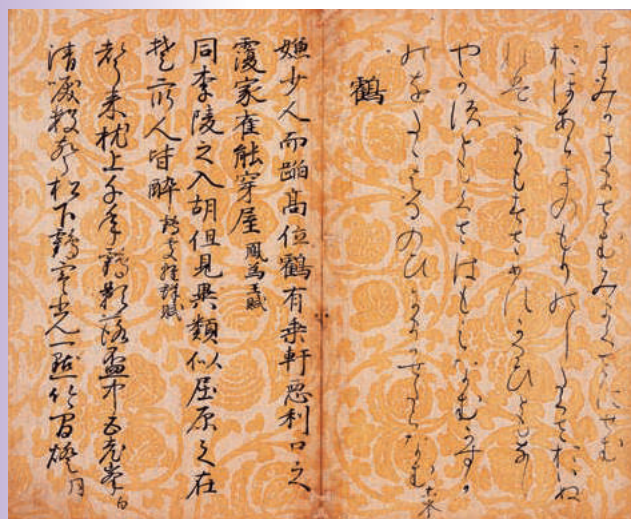
九州国立博物館 太宰府天満宮横
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

お問い合わせ=050-5542-8600 (NTTハローダイヤル) 9:00～20:00 / 年中無休 www.kyuhaku.jp

駐車場(有料)には限りがございますので予めご了承ください。



🐦 展覧会公式ツイッター @koshitsunomeiho



でつちょうほんわかんろうしゅうしゅう だん ぶんげいのたかゆき
《粘葉本和漢朗詠集》(下巻) 伝 藤原行成 平安時代 11世紀
[会期中めぐり替え]

華麗な料紙に
練り広げられる
漢字と仮名の競演

第一章

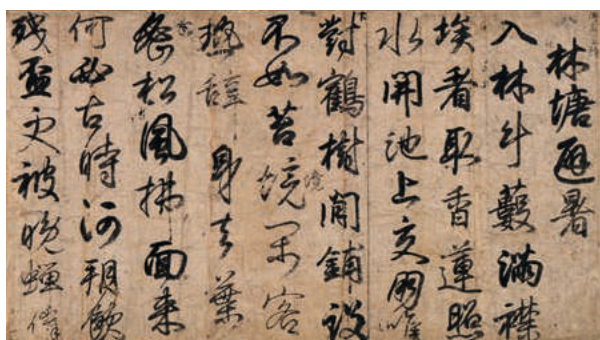
皇室聚宝

歴代天皇や宮家が愛蔵した平安・鎌倉時代の名筆や、モンゴル襲来(元寇)の事績を描いた《蒙古襲来絵詞》、やまと絵の代表作《春日権現験記絵》、伊藤若冲の《動植綵絵》など、わが国屈指の名品をご紹介します。この貴重なコレクションをとおして、日本文化の継承に皇室が果たしてきた役割をみつめます。

凛とたたずむ神々しき

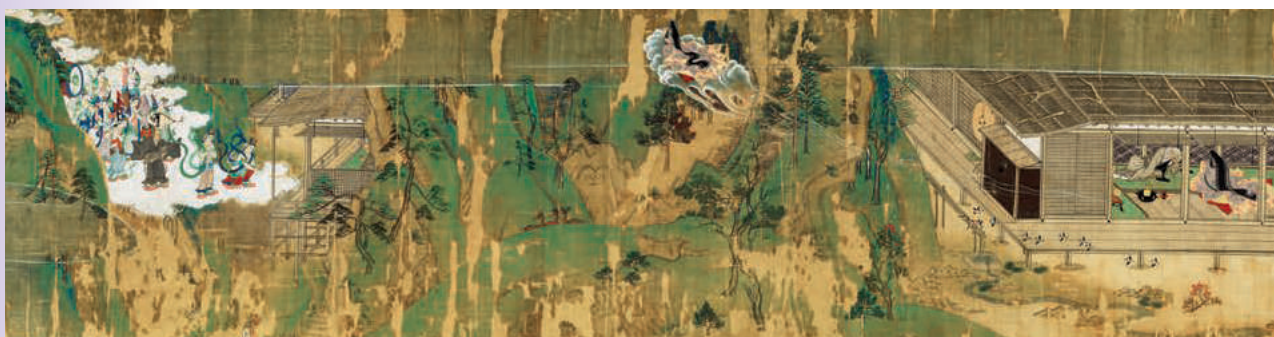


どうしゅうさいさい とうしゅうさいさい
《動植綵絵 老松孔雀図》伊藤若冲
江戸時代 18世紀 [後期展示]



おののみちかぜ
《屏風土代》(部分) 小野道風 平安時代 延長6年(928) [前期展示]

「下書き」とは思えぬ
重厚かつ優美な書



かすがごんげんげんきえ たかしたかかね
《春日権現験記絵》(巻第十 部分) 高階隆兼 鎌倉時代 延慶2年(1309)頃 [後期展示]

春日の神と
やまと絵の傑作



もうこうしゅうらいしこくば
《蒙古襲来絵詞》(前巻 部分) 鎌倉時代 13世紀 [前期展示]

※掲載作品はすべて宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 ※期間中、展示替えがございますのでご了承ください。展示期間：前期 7月20日～8月9日・後期 8月11日～8月29日

天皇陛下の御即位にとも
ない、新たな時代を迎えました。
新たな御代をことほぎ、新元号「令和」
ゆかりの地、太宰府において、皇室の名
宝をご紹介します。本展は、宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する
皇室のコレクションの中から、皇室の御慶事
に際して九州各地から献上された品々や、各
時代の日本美術の名品をとおして、皇室の
文化継承、皇室と九州の深いつながりをこ
紹介します。時代を越えて皇室が守り伝
えてきた貴重なコレクションが、九州
の地でまともって公開される初め
の機会です。

第一章

皇室の近代を彩る

本章では、近代における皇室のコレクションのうち、九州ゆかりの作品を中心にご覧いただけます。折々に皇室にささげられた美術、工芸品は、その誉れにふさわしく、敬意と祝意がこめられ、粋をあつめて制作されました。また、皇室による伝統美術の保護について、帝室技芸員の名作をとおしてご紹介します。



らんりょうおうおきもの うんのしやうみん
《蘭陵王置物》海野勝瑠 明治23年(1890)
[通期展示]

巧緻を尽くした技法と
金属を超えた質感



しちほうしきしやうずかびん
《七宝四季花鳥図花瓶》
並河靖之 明治32年(1899)
[通期展示]

パリ万博に出品された
七宝の精華



へいせいどうしゅきほうふそくたけいようぶ
《平成度主基地方風俗歌屏風》(左隻) 高山辰雄 平成2年(1990) [後期展示]

平成の御即位
「大饗の儀」
をかざった
大分の情景



いろえぶどうりすずかびん せいじがいしや
《色絵葡萄栗鼠図花瓶》精磁会社
明治時代 19世紀 [通期展示]

明治宮殿を飾った
有田焼の大作

特別公開

ぎよぶつ しょうとくたいし におうじぞう ほっけ きしよ
御物 聖徳太子二王子像と法華義疏 [後期展示]

このたび、日本の古代史を彩る希代の名品「聖徳太子二王子像」と「法華義疏」を特別に公開いただくことになりました。黎明期の日本仏教文化の基礎を築いた聖徳太子ゆかりの御物をご覧ください。

※御物とは、天皇家の御所蔵品に対する敬称です。